

科目名	メーキング基礎実習 I		授業のねらい ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。	
担当教員	田坂、嶺脇、築館、井上、東海林			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	296時間	単位数	8単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)、東海林(ジュエリークリエイター)、嶺脇(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習 I-1(リング制作)			
	内容	道具加工・糸ノコ切り回し／平打ちリング／甲丸リング リングの最も基本的な形状の平打ちリングと、商品に多く使われる甲丸リングの制作を通し、プロセスや使用する工具について学ぶ		
	メーキング基礎実習 I-2(覆輪留めリング)			
	内容	覆輪留めリング カボションカットの覆輪留めリングを制作することにより、石座制作のプロセスを学ぶ		
	メーキング基礎実習 I-3(爪留めペンダント)			
	内容	ファセットカットの爪留めペンダントを制作することにより、石座制作のプロセスを学ぶ		
授業の計画展開	メーキング基礎実習 I-4(彫留め技法)			
	内容	彫り留めリング／ピアス 小さな石を留める技法を学ぶ		
	メーキング基礎実習 I-5(ロケットペンダント)			
	内容	ロケットペンダント カシメ・ヒンジの構造の理解と制作方法		
	メーキング基礎実習 I-6(宝石研磨)			
	内容	宝石研磨 原石のカボションカット技法を学ぶ		
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	メーキング造形実習 I		授業のねらい
担当教員	田坂、嶺脇、築館、井上、東海林		ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。また、各自でデザインをしながら、技法を使った制作を進める。ジュエリーコンペティションではジュエリーに於ける自己表現のあり方や自己の探求を求める。
対象学年	1年		
必修選択の別	必修		
授業時数	472時間	単位数 15単位	
開講期間	2022.4.1～2023.3		到達目標
授業形態	実習		新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
教員紹介	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)、東海林(ジュエリークリエイター)、嶺脇(ジュエリー作家)		
授業の計画展開	メーキング造形実習 I-1(WAXリサーチ)		
	内容	ワックス基本リング／ワックスデザインリング WAX造形技法を学び、基本形状リングの制作 テーマからリサーチし、オリジナルリングを制作する WAX原型制作から鑄造方法、仕上げまでのロストワックス技法のプロセス	
	メーキング造形実習 I-2(ブローチ)		
	内容	箱物の制作方法とブローチ金具の取り付け方法を学ぶ	
	メーキング造形実習 I-3(ワイヤーピアス)		
	内容	ワイヤーピアス 具象物をモチーフとし、シルバー線でピアスを制作する	
	メーキング造形実習 I-4(パールジュエリー)		
内容	パールを使用しジュエリーを制作、パールの留め方を学ぶ		
メーキング造形実習 I-5(ジュエリーコンペティション)			
内容	ジュエリーコンペティション 1年間で習得した技法や技術を生かし、オリジナルジュエリーの制作を行う		
メーキング造形実習 I-6(オリジナルストーンリング)			
内容	自身でカットした宝石を留めたリングの制作		
履修上の注意事項			
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。		
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト		
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト		

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	宝石学 I			授業のねらい  宝石に関する全般的な基礎知識(流通用語、耐久性と物理的特性、輝きと光学的特性、処理や合成など)を幅広く習得する。
担当教員	森			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	30時間	単位数	1単位	到達目標  広く知られた宝石の名称とその特徴を知識として確実に覚えることを目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	宝石学A-1(宝石の基礎知識)			
	内容	宝石の基礎知識		
履修上の注意事項				
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	学校オリジナルテキスト			
参考文献	宝石教室、宝石、ジュエリーコーディネーター検定3級テキスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	デザイン基礎実習 I			授業のねらい ジュエリーデザインに必要な基本的なレンダリング、製図読解、アイデア展開からPCスキルまでを包括的に習得していく。
担当教員	嶺脇、黒沢、島崎			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	192時間	単位数	6単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			ジュエリーデザインに必要な基本的な知識、方法を学び、確実に仕上げることを目標とする。
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝嶺脇(ジュエリー作家)、黒沢(ジュエリーデザイナー)、島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習 I-1(CAD造形ペンダント)			
	内容	デジタル演習(アフィニティデザイン/シェイパー3D)		
	デザイン基礎実習 I-2(デザイントレーニング)			
	内容	デザイントレーニング		
	デザイン基礎実習 I-3(製図の基礎1)			
	内容	dr1スケッチ/dr2立方体/dr3円柱 dr4立体図から図面/dr5図面読解 dr6質感表現1/dr7平打ちリング		
	デザイン基礎実習 I-4(企画デザイン)			
	内容	テーマからのデザイン展開		
授業の計画展開	デザイン基礎実習 I-5(製図の基礎2)			
	内容	dr8甲丸リング/dr09リング製図 dr10リングの構造/dr11石付きリングの構造		
	デザイン基礎実習 I-6(共通講義・レポート)			
	内容	学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義		
	デザイン基礎実習 I-7(製図の基礎3)			
	内容	dr12サイドメリング/dr13取り巻きリングの構造		
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	美術史・情報デザイン概論 I			授業のねらい 国内外の歴史やトレンドを学び、ものづくりをする上での発想や表現の基本となる知識を深める。
担当教員	島崎・嶺脇・黒沢			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	16時間	単位数	1単位	到達目標 講義において出題されたテーマについて自身の見解とその根拠をレポートにまとめる。
開講期間	2022.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	美術史・情報デザイン概論 I (講義・レポート作成) 内容 国内外の歴史やトレンドからの発想、レポート作成口			
履修上の注意事項				
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	学校オリジナルテキスト			
参考文献	宝石教室、宝石、ジュエリーコーディネーター検定3級テキスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	メーキング基礎実習Ⅱ		授業のねらい 1年次で学んだ基礎造形および基礎技法を踏まえ、更に専門的なジュエリーに於ける表現方法を習得していく。	
担当教員	島崎、築館、中梶			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	192時間	単位数	5単位	到達目標 新しい技術・素材の加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることが目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝島崎(ジュエリーブランドオーナー)、中梶(根付作家)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅱ-1(模刻)			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍛造技法・打ち出し技法・WAX造形技法を学び、植物ブローチを模刻する。</li> <li>・金工作家山崎航講師を迎え、金属の加工方法とブローチ金具の構造を学ぶ。</li> </ul>		
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅱ-3(素材の研究)			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然素材、人工素材を幅広くリサーチし、さまざまな素材と関わる。表現の可能性だけでなく、素材に合った加工法も合わせて研究する。</li> <li>・荒田朋美講師を迎え、素材を活かしたジュエリー制作の実際を学ぶ。</li> </ul>		
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	メーキング造形実習Ⅱ			授業のねらい JM基礎実習で培った技術と素材の研究から更に各自のテーマ・コンセプトに合わせて表現方法を発展させていく。
担当教員	島崎、築館、中梶			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	552時間	単位数	17単位	到達目標 各自テーマに合わせての新しい素材の加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝齋藤(現代美術作家)、島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-1(素材の研究からの発展)			
	内容	・MATERIAL RESEARCHで発見したアイデアを発展させ、展覧会で発表するジュエリーを制作する		
	メーキング造形実習Ⅱ-2(彫りの研究)			
	内容	・和彫り技法を使用したジュエリーを制作する。		
	メーキング造形実習Ⅱ-3(構造の研究)			
	内容	・テーマをもとに機能・構造を持ったジュエリーを制作する。		
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-4(マテリアルクロニクル)			
	内容	・素材としての鉄と金をリサーチし、導き出したテーマからデザインを展開する。 ・鉄、金の特性、加工方法を学ぶ。		
	メーキング造形実習Ⅱ-5(コンポジション)			
内容	・量産を意識したジュエリーの制作方法を学ぶ。			
履修上の注意事項	素材研究から多くの可能性を見出すこと。多角的な洞察を行い、市場性かつ独自性のある提案に取り組む姿勢が重要となる。			
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	デザイン基礎実習Ⅱ			授業のねらい 1年次で学んだ基礎技法を踏まえ、ジュエリーデザインに必要なレンダリング、製図読解、アイデア展開の応用からPCスキルまでを包括的に習得していく。
担当教員	齋藤、島崎			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	104時間	単位数	3単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			ジュエリーデザイナーに必要な製図の精度、製図の読み取り、レンダリングの完成度を醸成させることを目標とする。 またPCでジュエリーデザイン画を完成させる。
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝齋藤(現代美術作家)、島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習Ⅱ-1(共通講義・レポート)			
	内容	学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義		
	デザイン基礎実習Ⅱ-2(ドリル)			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインドリル</li> <li>・図面読解、ハイライトレンダ</li> </ul>		
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			



授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	デザイン造形実習Ⅱ			授業のねらい 指定テーマ、条件に基づき、自身の作品コンセプトを設定する。表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる。また自身の作品を効果的に伝達するためのビジュアルデザインやWEBデザインを学ぶ。
担当教員	齋藤、島崎			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	144時間	単位数	4単位	到達目標 設定した作品コンセプトに基づき、ジュエリーの基礎知識を踏まえた上で、実作可能なジュエリーデザインを完成させる。また、ビジュアルデザインについての探求を通し、自身をブランディングする為のWEBサイトを完成させる。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝齋藤(現代美術作家)、島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅱ-1(ドローイング)			
	内容	・植物・野菜の観察から細密ドローイングを行う ・メーキング授業と連動課題		
	デザイン造形実習Ⅱ-2(プランニング)			
	内容	テーマにもとづいたジュエリー企画・提案・デザインを行う		
	デザイン造形実習Ⅱ-3(宝石鑑定・ブライダル)			
内容	・ブライダル市場のリサーチから企画提案までをデザインする			
デザイン造形実習Ⅱ-4(ポートフォリオ)				
内容	・自己をプレゼンテーションするポートフォリオ制作			
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	宝石学A-2			授業のねらい ダイヤモンドの特性や品質に関する知識を学ぶ。また、ダイヤモンドの鑑定実習を通し、鑑定の流れ、グレーディングレポートの見方を学ぶ。
担当教員	森			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	40時間	単位数	1単位	到達目標 ダイヤモンドの品質を見分け、簡易的な鑑定ができることを目指す。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	宝石学A-2(ダイヤモンド鑑定実習) 内容 宝石の基礎知識、ダイヤモンド鑑定実習			
履修上の注意事項	ダイヤモンドの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率を履修基準とする。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリー専攻

科目名	コンピューター実習Ⅱ			授業のねらい 1年次に習得したCADソフト「ライノセラス」の基本操作の復習とより独自性のあるジュエリーデザインへの応用を目指す。
担当教員	本多			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	32時間	単位数	1単位	到達目標 CADソフト「ライノセラス」による独自性のあるリングデータの作成
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	コンピューター実習Ⅱ-1(CAD造形リング) 内容 CADによるデザイン			
履修上の注意事項	CADソフトで作成したデータは、造形及び仕上げ加工が可能な精度であることが求められる。			
評価方法	1.課題作品:造形力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリ専攻

科目名	メーキング造形実習Ⅲ			授業のねらい 2年次までに習得した素材に対するアプローチを発展させ、社会性を持った作品を制作する。また外部での展示会・販売会を通して自己の作品のプレゼンテーション方法を習得する。
担当教員	多賀谷、島崎、齋藤			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	456時間	単位数	14単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			各自テーマ・コンセプトに合わせての新しい素材の加工法と知識を学び、それに基づいて社会性のある作品を仕上げ、発表・販売することを目標とする。
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝島崎(ジュエリーブランドオーナー)、齋藤(現代美術作家)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅲ-1(コレクション)			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月にEDGEにて行うショーの立案企画から、作品制作、演出、運営までを行う。</li> <li>・ショーでの発表を意識したデザイン、素材選び、完成までのスケジューリングに留意する。</li> </ul>		
	メーキング造形実習Ⅲ-2(展覧会)			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ、コンセプトを踏まえたジュエリー制作。</li> </ul>		
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅲ-3(販売会)			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマをもち、量産をふまえた商品デザイン。</li> <li>・製造方法、素材選び、価格設定を行う。</li> <li>・店頭での接客も行う。</li> </ul>		
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリー専攻

科目名	卒業制作			授業のねらい 3年次前課題までに習得した基礎造形力の集大成として、卒業制作における研究成果の表現の可能性を探求する。
担当教員	多賀谷、島崎、齋藤			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	288時間	単位数	9単位	到達目標 自身の明確な制作テーマに対して的確な技術技法や知識知恵を選択し、制作の計画を着実に実行し、集大成としての作品に仕上げることが目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有=島崎(ジュエリーブランドオーナー)、齋藤(現代美術作家)			
卒業制作	卒業制作			
授業の計画展開	内容 ・3年間の集大成として、卒業制作展に出品する作品を制作する。			
履修上の注意事項	卒業制作テーマは3年次前課題までの作品に反映された研究テーマを各自整理し独自性のある作品を制作することが重要である。			
評価方法	1.課題作品:独創性・造形力・研究テーマに基いた作品 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価			
テキスト	なし			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリー専攻

科目名	デザイン造形実習Ⅲ			授業のねらい 最新のトレンドを知り、そこからジュエリーデザインにつなげる。また、できた作品をプロモーションするために販促物のあり方とその効果を学習する。
担当教員	田坂			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	124時間	単位数	3単位	到達目標 各自設定したコンセプトに基づき、ジュエリーの知識を踏まえた上で、ジュエリー企画を完成させる。また、自身の作品を効果的に伝えるための手段としての販促物についても企画し、確実に仕上げることを目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-1(ポートフォリオ)			
	内容	・自己をプレゼンテーションするポートフォリオ制作		
	デザイン造形実習Ⅲ-2(展示企画)			
	内容	・グループ展の企画立案		
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-3(ムービー制作)			
	内容	・自分の作品イメージを表現するムービーの制作		
	デザイン造形実習Ⅲ-4(ブライダルデザイン)			
	内容	・ブライダル市場のリサーチから企画提案までをデザインする		
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリ専攻

科目名	ビジネス講義および実習Ⅲ			授業のねらい 市場調査を通し、時代性、社会問題、人々のニーズを掴む。調査結果を分析し、各自の洞察からの提案を発展させ、素材研究を試行しながら、現代に留まらず、未来の社会における新たな表現の可能性を探求する。また自身の提案の効果的な伝達方法を探求する。
担当教員	嶺脇			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	124時間	単位数	4単位	到達目標 調査結果、各自の洞察からの展開に基づき、社会に紐付いた市場性かつ独自性のある提案を行い、他者への効果的な伝達を目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝嶺脇(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	ビジネス講義及び実習Ⅲ-1(リフォーム)			
	内容	テーマに基づいたリフォーム		
	ビジネス講義及び実習Ⅲ-2(共通講義・レポート)			
	内容	学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義		
授業の計画展開	ビジネス講義及び実習Ⅲ-3(プレゼンテーション)			
	内容	テーマに基づいたプレゼンテーション		
履修上の注意事項	市場調査、素材研究から多くの可能性を見出すこと。多角的な洞察を行い、市場性かつ独自性のある提案に取り組む姿勢が重要となる。			
評価方法	1.課題作品:調査力、分析力、展開力、造形力、伝達力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリーコーディネーター検定2、3級テキスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリー専攻

科目名	宝石学B-1			授業のねらい 1,2年次に学んだ宝石知識の復習及び、多種に渡るカラーストーンの特徴、品質、市場性についての知識を深める。
担当教員	森			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	44時間	単位数	1単位	到達目標 多種に渡る色石の特徴、品質、市場性についての知識を習得する。また各鉱物の特性を習得する事で、ジュエリーデザイン、制作に於いて適切にカラーストーンを扱えることを目指す。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	宝石学B-1(カラーストーン講義・実習) 内容                    カラーストーン鑑定実習			
履修上の注意事項	カラー石の基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率を履修基準とする。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			



授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース シルバーアクセサリー&クラフト専攻

科目名	メーキング造形実習Ⅲ			授業のねらい 2年次で学んだ基礎造形および基礎技法に基づき、更に独自の彫金の技法を探究していく。また、各自でデザインをしながら、技法を使った制作を進める。展覧会用ジュエリー制作では金属加工に於ける自己表現のあり方や自己の探究を求める。
担当教員	島崎、中梶、齋藤			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	456時間	単位数	14単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝島崎(ジュエリーブランドオーナー)、中梶(ジュエリー作家)、齋藤(現代美術作家)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅲ-1(メタルリサーチ①)			
	内容	各種技法を体験し、新しい金属の可能性をを探索		
	メーキング造形実習Ⅲ-2(メタルリサーチ②)			
	内容	新しい金属の可能性からオリジナリティある表現を探索		
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅲ-3(販売用ジュエリー制作)			
	内容	テーマに基づいた販売会用ジュエリーの制作		
履修上の注意事項	素材研究から多くの可能性を見出すこと。多角的な洞察を行い、独自性のある提案に取り組む姿勢が重要となる。			
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース シルバーアクセサリー&クラフト専攻

科目名	卒業制作			授業のねらい  3年次前課題までに習得した基礎造形力の集大成として、卒業制作における研究成果の表現の可能性を探求する。
担当教員	島崎、中梶、齋藤			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	288時間	単位数	9単位	到達目標  自身の明確な制作テーマに対して的確な技術技法や知識知恵を選択し、制作の計画を着実に実行し、集大成としての作品に仕上げることが目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝島崎(ジュエリーブランドオーナー)、中梶(ジュエリー作家)、齋藤(現代美術作家)			
授業の計画展開	卒業制作 内容 ・3年間の集大成として、卒業制作展に出品する作品を制作する。			
履修上の注意事項	卒業制作テーマは3年次前課題までの作品に反映された研究テーマを各自整理し独自性のある作品を制作することが重要である。			
評価方法	1.課題作品:独創性・造形力・研究テーマに基いた作品 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価			
テキスト	なし			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース シルバーアクセサリー&クラフト専攻

科目名	デザイン造形実習Ⅲ			授業のねらい 指定テーマ、条件に基づき、自身の作品コンセプトを設定する。表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる。また自身の提案や作品を効果的に伝達するためのビジュアル・エディトリアルデザインを学ぶ。
担当教員	島崎			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	124時間	単位数	3単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			設定した作品コンセプトに基づき、ジュエリーの基礎知識を踏まえた上で、実作可能なジュエリーデザインを完成させる。また、ビジュアル・エディトリアルデザインについての探求を通し、自身をブランディングする為の作品集、WEBサイトを完成させる。
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-1(ポートフォリオ)			
	内容	・自己をプレゼンテーションするポートフォリオ制作		
	デザイン造形実習Ⅲ-2(ブライダルデザイン)			
授業の計画展開	内容			
	・ブライダル市場のリサーチから企画提案までをデザインする			
	デザイン造形実習Ⅲ-3(ビジュアル&サイトデザイン)			
授業の計画展開	内容			
	・ビジュアルエディトリアルデザイン ・webサイトデザイン			
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース シルバーアクセサリー&クラフト専攻

科目名	ビジネス講義および実習Ⅲ			授業のねらい 市場調査を通し、時代性、社会問題、人々のニーズを掴む。調査結果を分析し、各自の洞察からの提案を発展させ、素材研究を試行しながら、現代に留まらず、未来の社会における新たな表現の可能性を探求する。また自身の提案の効果的な伝達方法を探求する。
担当教員	嶺脇			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	124時間	単位数	4単位	到達目標 調査結果、各自の洞察からの展開に基づき、社会に紐付いた市場性かつ独自性のある提案を行い、他者への効果的な伝達を目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝嶺脇(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	ビジネス講義及び実習Ⅲ-1(リフォーム)			
	内容	テーマに基づいたリフォーム		
	ビジネス講義及び実習Ⅲ-2(共通講義・レポート)			
	内容	学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義		
授業の計画展開	ビジネス講義及び実習Ⅲ-3(プレゼンテーション)			
	内容	テーマに基づいたプレゼンテーション		
履修上の注意事項	市場調査、素材研究から多くの可能性を見出すこと。多角的な洞察を行い、市場性かつ独自性のある提案に取り組む姿勢が重要となる。			
評価方法	1.課題作品:調査力、分析力、展開力、造形力、伝達力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリーコーディネーター検定2、3級テキスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース シルバーアクセサリー&クラフト専攻

科目名	宝石学B-1			授業のねらい 1,2年次に学んだ宝石知識の復習及び、多種に渡るカラーストーンの特徴、品質、市場性についての知識を深める。
担当教員	森			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	44時間	単位数	1単位	到達目標 多種に渡る色石の特徴、品質、市場性についての知識を習得する。また各鉱物の特性を習得する事で、ジュエリーデザイン、制作に於いて適切にカラーストーンを扱えることを目指す。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	宝石学B-1(カラーストーン鑑定実習) 内容           カラーストーン鑑定実習			
履修上の注意事項	カラーストーンの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率を履修基準とする。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	メーキング基礎実習Ⅲ		授業のねらい 2年次に学んだ多種に渡る石留め技法を自身の作品に応用する。	
担当教員	花岡、山田、星野			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	32時間	単位数	1単位	到達目標 石留めの正確性と装着性の良さを兼ね備えた作品を完成させる事を目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝星野(ジュエリークリエイター)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅲ-1(ワックス造形) 内容                   ワックス造形、メレー石座ざぐり			
履修上の注意事項	作品完成度のみではなく、制作工程を理解し、計画的な作業手順を踏む事が重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力   2.制作意欲:日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	メーキング造形実習Ⅲ		授業のねらい 2年次までに習得した宝飾技法を応用し、指定テーマにおける表現の可能性を探求する。	
担当教員	花岡、山田、星野			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	424時間	単位数	13単位	到達目標 習得した技術を応用し、市場性のあるセットジュエリーを完成させる事を目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝星野(ジュエリークリエイター)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅲ-1(マルチストーンブローチ)			
	内容	マルチストーン石留め、ロウ付け寄せ加工、ブーケブローチ		
	メーキング造形実習Ⅲ-2(パヴェ留めジュエリー)			
	内容	パヴェ留めジュエリー		
	メーキング造形実習Ⅲ-3(オリジナルジュエリー)			
	内容	テクニック研究		
	メーキング造形実習Ⅲ-4(スクエアストーンペンダント)			
内容	スクエア石座制作 板爪石留め技法			
メーキング造形実習Ⅲ-5(CAD造形)				
内容	ライノセラスによるCADデータ作成			
履修上の注意事項	作品完成度のみではなく、計画的な作業手順を踏む事が重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	『ジュエリーバイブル』			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	卒業制作			授業のねらい 3年次前課題までに習得した技術力と造形力の集大成として、卒業制作における研究成果の表現の可能性を探求する。
担当教員	花岡、山田、星野			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	288時間	単位数	9単位	到達目標 自身の明確な制作テーマに対して的確な技法を選択し、集大成としての作品に仕上げることが目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝星野(ジュエリークリエイター)			
卒業制作	卒業制作			
授業の計画展開	内容 3年間の集大成として、卒業制作展に出品する作品を制作する。			
履修上の注意事項	卒業制作テーマは3年次前課題までの作品に反映された研究テーマを各自整理し、独自性のある作品を制作することが重要である。			
評価方法	1.課題作品:独創性・造形力・研究テーマに基いた作品 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価			
テキスト	なし			
参考文献	なし			



授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	デザイン造形実習Ⅲ			授業のねらい 指定のテーマに基づき、自身の作品コンセプトを設定する。表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる。また、完成作品の効果的なプレゼンテーション方法を習得する。
担当教員	花岡、田坂			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	124時間	単位数	3単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			各自設定したコンセプトに基づき、ジュエリーデザインを完成させることを目標とする。また自身をプロモーションする為のポートフォリオを完成させる。
教員紹介	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-1(パヴェ留めジュエリー)			
	内容 パヴェ留めジュエリーデザイン			
	デザイン造形実習Ⅲ-2(展示会用ジュエリー)			
	内容 卒業制作デザイン			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-3(ブライダル)			
	内容 ブライダルジュエリーデザイン、企画提案			
履修上の注意事項	指定のテーマを深く洞察する事と自身の提案を資料に的確にまとめられることが重要である。			
評価方法	1.課題作品:展開力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	ビジネス講義および実習Ⅲ			授業のねらい 市場調査を通し、時代性、社会問題、人々のニーズを掴む。調査結果を分析し、各自の洞察からの提案を発展させ、素材研究を試行しながら、現代に留まらず、未来の社会における新たな表現の可能性を探求する。また自身の提案の効果的な伝達方法を探求する。
担当教員	花岡、田坂			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	124時間	単位数	4単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			調査結果、各自の洞察からの展開に基づき、社会に紐付いた市場性かつ独自性のある提案を行い、他者への効果的な伝達を目標とする。
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	ビジネス講義及び実習Ⅲ-1(コンシューマー) 内容 テーマに基づいたデザイン提案 ビジネス講義及び実習Ⅲ-2(共通講義・レポート) 内容 学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義 ビジネス講義及び実習Ⅲ-3(プレゼンテーション) 内容 テーマに基づいたプレゼンテーション ビジネス講義及び実習Ⅲ-4(プランニング) 内容 テーマに基づいた企画提案			
履修上の注意事項	市場調査、素材研究から多くの可能性を見出すこと。多角的な洞察を行い、市場性かつ独自性のある提案に取り組む姿勢が重要となる。			
評価方法	1.課題作品:調査力、分析力、展開力、造形力、伝達力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリーコーディネーター検定2、3級テキスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	宝石学B			授業のねらい 1,2年次に学んだ宝石知識の復習及び、多種に渡るカラーストーンの特徴、品質、市場性についての知識を深める。
担当教員	森			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	44時間	単位数	1単位	到達目標 各鉱物の特性を習得する事で、ジュエリーデザイン、制作に於いて適切にカラーストーンを扱えることを目指す。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	宝石学B-1(カラーストーン実習) 内容           カラーストーン講義及び実習			
履修上の注意事項	カラーストーンの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率を履修基準とする。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			